

同種同文、唇齒輔車の関係ある一朝一夕にあらず而も今にして日支関係の兎角思はしからざるは其国情文物の闡明せられざるにあり是に於てか在学生有志諸氏は先輩にして講師たる稻田周之助氏の賛同を得て支那の国情を攻究し日支親善の実を挙ぐることを目的として中央大学日支義会を創設せり本会は本学学生及び卒業生を以て組織し其目的を達する為め支那事情及び支那語学を攻究し時時名士の講演会を開催することとし去二月十一日午後一時より大講堂に於て其第一回大会を開けり此日天気晴朗にして聴衆甚だ多く松平康國、光明寺内藏造、早稲田大学支那協会、青年雄弁社、世界公論社、満洲及朝鮮雜誌社の諸氏、多数の支那人等出席し定刻發起人の開会の辞に次ぎ宣言書を朗読し次て名士の講演に移る先づ稻田周之助氏は支那及支那人と題し支那と云ふ語發生の由来其語源等を述べて漢人種の土著したる由来に論及したる後漢民族は「スラブ」人の如く非軍国主義的民族なり異民族を愛好し平和を喜び他人を同化し気の長きことは此民族の特色なり思ふに古代支那人は彼の南洋に見るか如く「トウテミズム」なりしならん即ち莊子の書中に見るか如く黄帝の世には母あるを知りて父あるを知らざる女系の階級結婚あるのみにして此家族制度の時代は頗る平和なりき春秋の後に至り世情變化したれとも漢人の本来は個人主義、平和主義によりて大なる国を成すへき特徴あるの人民なりと説き拍手裡に降壇せらる次に青柳篤恒氏は日支貿易の根本觀念と題し先づ支那研究の急務なることより支那語研究の必要に論及し転じて日支兩國国民の連結は經濟的連結の利益の結合ならざるへからざる

448 中央大学日支義会

〔「法学新報」第27卷3(306)号 大正6年3月1日〕

○中央大学日支義会 歐洲戦後の世界は全く新なるの世界なり殊に古き東洋の天地は新しく彩とられんとす即ち歐洲各国が戦乱の巷に蕩尽したる莫大なる軍費は何等かの方法に依りて此新しき商戦場裡に転嫁すへきものなること実に智者を待て知るへきにあらず此時に際し苟も国を極東に立つるの民たるもの晏然として日を空うすへけんや隣邦支那、国開けて五千載、我国と

を説き更に進て日支貿易根本の秘訣は我は彼より原料品を買込み彼れには我加工製造品を売込み以て有無相通すべく但し今や支那に於ては一面工業の進歩著しく他面国家的精神高調せられ外国品を喜はざるの氣運あり唯支那の最も乏しとする所は資本なり然るに我国今や資本の多きに苦む状態なれば之を以て有利なる事業に支那に於て投資すること最も策の得たるものなるべく但し之に付ては日米提携論の有力なることを省みざるべからずと論し終りに凡そ对支方針に二あり一は分割、一は保全、支那を分割し我国も其分前として若干の領土を得ることは愉快なりとするか如きも斯る眼前の小利益に呑まれて国家百年の長計を忘るるは不可なり吾人は屢勢力東漸、黃禍なる言を聞けり然れとも吾人は茲に白禍を叫はんとす白禍か如何に肉迫し来るとも日本と歐洲との間には支那大陸ありて其圧迫は緩和せられ其干渉は間接と爲る吾人にとりて支那大陸は大なる安全弁なり支那を分割すれば白禍肉体に必迫するも支那あれば安固たり之を忘れて支那を分割せんとするか如きは小利あるを知て大害あるを忘れたるものなり一步を進めて支那全部を熨斗を付けて進上すべしと云ふものあらんか之を引受くる丈の準備ありや支那全部とは即ち具体的に説明すれば本部十八省、滿洲、蒙古、伊犁、天山、西藏是なり如此支那の分割は不可茲に於て吾人は支那は支那人之を治めよ支那の保全は支那人の爲ならず又日本人の爲に之を保全す相握手して有無相通し自利利他日支親善の途に就かんとすと説き喝采声裡に講演を了へ次に奈佐忠行氏は对支貿易所感なる演題の下に我国の支那に於ける貿易は誠に見るべき

ものなしはれ商人として人格の正しからざることか第一の原因なり一時的の利益に眩惑して永遠の目的を思はず次に支那内部の事情に付て研究不十分なる嫌あり支那人か如何なるものを要求し歐米各国の支那向商品に付ての研究を怠り独逸品の如き声価高きものに凌駕せらるるに至る日本人は支那人を輕視し劣等人視するか故に先方にて胸襟を開きて交際せず従て商売不如意なり支那は豊富なる好き土地なり他に見ることを得ざる絶好の土地多きも上述の如き形式にては日本人の發展覚束なし故に充分彼地の事情を知得し其所望の利益を獲得すべきなり然れとも支那の内情を知るは容易のことにあらず支那は元來交通不便にして貨幣は甚しく不統一なり而して未開の土地甚多し之等は漸次進歩するに至るへし来るべき世界の商戦は支那に於て激烈ならん是に於てか日本人と支那人は共に提携し協力共同をなすべき必要ありと歎声裡に演了し次に龜井陸良氏立て支那の現況に付き説く所あり曰く支那事情の研究は歐米各国を研究せずんは之を悉すこと困難なり支那の事情は複雑にして或は不可解とせられ或は神秘的とせらるるは其風俗習慣の異なるものあり著書参考書に乏しきか一因なり之を研究するには数理及び實際よりし総括的議論に於て断定を下すことは避くべき所なり支那の現況は複雑せり其由て来る所は久しく五年間に三度ひ革命を行へり此革命は一種の人種的觀念なり清朝の末路に於て武昌に於ける第一次の革命は滅滿興漢を以て其の旗幟とせり滅滿興漢のみならず新しき學問をなしたる新派と旧思想家の旧派は久しき以前より争へり明治三十一年康有爲は時の光緒皇帝に變法自強

の策を献し西洋文明の普及を図らんとせるか中途にして西太后に洩れ遂に捕へられたり一度ひ歐洲に留学したる者は民主政治こそ強国の間に処して独立する所以なりと信し革命を必要と信せり是れ保皇会に対して同盟会の對抗する所以なり清朝の末期より革命となり袁世凱の大總統―帝政運動より現在に至る迄種種の衝突は悉く新旧思想の争鬭なり現在に於ても段内閣と黎總統と国会とは事毎に相抗争しつつあり中心点なく主腦なく政治の運用に付き考慮を廻らすの政治家なし支那国歩の艱難、支那の将来は憂ふるに足る日本の将来も亦可憂なり斯る次第なれば吾人は日支親善に賛成す経済的連結、利益の共通異議なし文化の低き国との経済的連結は政治を忘却すれば破るへし政治と経済とは支那に於ては分離すへからず東洋の将来は十分研究し以て重大なる覚悟を為すを要する次第なりと満場熱心に傾聴し次て学員横田稔君の談話あり茲に無事講演を了し午後五時半発起人の閉会の辞を以て散会し会員は更に別室に於て佐藤中央大学幹事の臨席を得て茶話会を開きたり（委員報）